

平成 29 年度 土曜日の授業等に係る実施状況等について

1 調査の目的

県内における土曜日の授業等の実施状況や成果、課題等を把握し、市町等教育委員会等と共有することで、土曜日を有効に活用し、学校・家庭・地域住民等の連携の下で、子どもたちの教育環境の充実につながる取組を一層充実させることを目的に調査を実施しました。

2 調査の実施

「公立小・中学校における土曜日の授業について」（平成 26 年 2 月 26 日付け教委第 05-179 号）に基づき、市町等教育委員会及び小中学校の取組状況及び予定を調査しました。また、県内 6 市町を対象に、児童生徒及び保護者対象にアンケート調査を実施しました。

3 調査の対象

（市町等教育委員会調査）

- ・県内の市町教育委員会…… 29 教育委員会

（学校調査）※学校長による回答

- ・公立小学校… 358 校（義務教育学校 1 校を含む）
- ・公立中学校… 155 校（義務教育学校 1 校を含む）

（児童生徒及び保護者アンケート調査）

平成 29 年度に実施した土曜日の授業の回数から、29 市町を① 3・4 回、② 5・6 回、③ 8 回・月 1 回程度の 3 グループに分け、①～③から各 2 市町ずつを対象として、アンケート調査を実施した。

- ・県内 6 市町（① 亀山市、明和町、② 鳥羽市、尾鷲市、③ 桑名市、紀宝町）

小学校…………… 10 校（児童 672 人（低学年 331 人、高学年 341 人）、保護者 548 人）

中学校…………… 6 校（生徒 466 人、保護者 396 人）

(4) 土曜日の授業の実施日の市町内での統一

	H26	H27	H28	H29
統一して実施	27.3%	51.7%	37.9%	27.6%
一部を除き統一して実施	22.7%	34.5%	55.2%	62.1%
学校の判断で実施	50.0%	13.8%	6.9%	10.3%

(5) 土曜日の授業の成果や課題を把握するための関係者による委員会等の設置

	H26	H27	H28	H29
設置した	45.5%	31.0%	31.0%	31.0%
設置しなかった	54.5%	69.0%	69.0%	69.0%

※平成27年度以降、数値は同じであるが、「設置した」及び「設置しなかった」と回答した市町は、年度によって異なっている。

(6) 土曜日等を活用して、家庭での学習が何らかの理由で困難な児童生徒への学習機会の保証を図るための取組（複数回答）

	H26	H27	H28	H29
土曜の課外授業 (学校が主体となって実施する学校教育活動)	10.3%	17.2%	20.7%	24.1%
土曜学習 (学校以外の者が主体となって行う学習等)	55.2%	51.7%	44.8%	41.4%

【平成30年度の実施予定について】

(7) 平成30年度の土曜日の授業の実施日等を、ホームページ、広報、リーフレット等で保護者や地域の方に周知しましたか。

教育委員会から周知した	34.5%
学校から周知した	37.9%
教育委員会と学校から周知した	27.6%
周知しなかった	0.0%

(8) 土曜日の授業の成果や課題を把握するための関係者による委員会等の設置予定

設置する	24.1%
設置しない	75.9%

(9) 土曜日等を活用して、家庭での学習が何らかの理由で困難な児童生徒への学習機会の保証を図るための取組（複数回答）

土曜の課外授業	17.2%
土曜学習	34.5%

(10) 所管の学校での土曜日の授業の実施予定

実施回数	実施週 (原則)	市町数	市町名
月1回程度 ※年間8回以上又は8回程度	第3週	4	四日市市、菰野町、玉城町、伊勢市
年間7回程度		1	名張市
年間6回程度		7	朝日町、川越町、津市、熊野市、御浜町、紀宝町、度会町
年間5回程度		1	南伊勢町
年間4～5回程度		1	松阪市
年間3回程度		13	桑名市、木曾岬町、いなべ市、東員町、鈴鹿市、亀山市、多気町、大台町、大紀町、鳥羽市、志摩市、尾鷲市、紀北町
年間2回程度		1	明和町
実施しない		1	伊賀市

※平成29年度から実施回数を変更した市町数とその内容

- 月1回程度 → 年間7回程度 (1)、年間6回程度 (3)
年間5回程度 (1)、年間3回程度 (4)
実施しない (1)
- 年間6回程度 → 年間5回程度 (1)、年間3回程度 (2)
- 年間5回程度 → 年間3回程度 (3)
- 年間4回程度 → 年間3回程度 (1)
- 年間3回程度 → 年間2回程度 (1)
- 年間8回程度 [小]、年間6回程度 [中] → 年間6回程度 (1)
- 年間6回程度 [小]、年間5回程度 [中] → 年間3回程度 (1)
- 年間5回程度 [中]、年間4回程度 [小] → 年間6回程度 (1)

学校調査結果の概要

(11) ー① 土曜日の授業の内容（複数選択）

※主なもののみ記載

授業内容	小学校				授業内容	中学校			
	H26	H27	H28	H29		H26	H27	H28	H29
学力の向上	84.3%	84.3%	98.1%	—	学力の向上	86.1%	93.6%	93.0%	—
通常の教科学習	—	—	—	88.9%	通常の教科学習	—	—	—	87.5%
体力の向上	23.5%	51.1%	76.8%	62.6%	伝統、文化的な行事	29.6%	38.9%	48.7%	38.8%
伝統、文化的な行事	45.9%	45.9%	71.1%	62.0%	道徳の時間	27.8%	33.8%	43.6%	34.9%
防災学習、防災訓練	34.0%	50.8%	56.5%	51.5%	体力の向上	5.2%	28.7%	54.5%	32.9%
道徳の時間	41.4%	47.9%	60.3%	45.0%	防災学習、防災訓練	15.7%	26.1%	35.3%	29.6%
補充学習	—	32.6%	34.6%	24.9%	キャリア教育	15.7%	27.4%	34.6%	27.0%
自然体験的行事	10.8%	22.2%	25.4%	20.5%	補充学習	—	29.3%	34.6%	21.1%

★平成29年度調査から「学力の向上」の項目を削除し、「通常の教科学習」の項目を追加

(11) ー② 内容別平均実施日数（複数選択）

※主なもののみ記載

授業内容	小学校	授業内容	中学校
通常の教科学習	3.8日	通常の教科学習	3.2日
補充学習	0.9日	補充学習	0.6日
伝統、文化的な行事	0.9日	外国語教育	0.6日
体力の向上	0.8日	体力の向上	0.5日
道徳の時間	0.7日	道徳の時間	0.5日
防災学習、防災訓練	0.6日	伝統、文化的な行事	0.5日
発展学習	0.5日	キャリア教育	0.4日
図書館資料の活用	0.4日	防災学習、防災訓練	0.4日

★平均実施日数は、各授業内容の実施日数の合計を土曜日の授業の実施校数で割った数

(12) 土曜日の授業の実施方法（複数選択）

選択肢	小学校				中学校			
	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29
① 通常の授業 (家庭、地域住民等への公開はせず)	64.9%	84.2%	88.4%	81.0%	67.8%	76.4%	77.6%	59.9%
② 家庭、地域住民等への公開授業	78.0%	84.8%	89.7%	88.0%	65.2%	74.5%	85.3%	71.1%
③ 家庭、地域住民、大学、企業 等との連携協力による授業	39.6%	52.7%	65.7%	52.9%	29.6%	43.3%	61.5%	44.1%

(13) 上記(12)③の連携協力の相手(複数選択)

小学校	H26	H27	H28	H29	中学校	H26	H27	H28	H29
保護者	67.0%	79.2%	77.8%	80.7%	保護者	32.4%	57.3%	50.6%	55.2%
自治会関係者	50.0%	61.4%	66.3%	60.2%	自治会関係者	23.5%	42.6%	46.1%	44.8%
CS等の関係者	20.8%	16.8%	24.7%	30.9%	CS等の関係者	8.8%	10.3%	20.2%	22.4%
企業関係者	13.2%	13.2%	11.9%	11.6%	大学等の教員	8.8%	8.8%	12.4%	17.9%
大学等の教員	6.6%	10.2%	6.2%	7.2%	企業関係者	38.2%	25.0%	27.0%	16.4%
元教員	8.5%	4.1%	9.5%	5.5%	元教員	5.9%	2.9%	9.0%	11.9%
大学等の学生	4.7%	4.5%	5.8%	4.4%	大学等の学生	11.8%	5.9%	9.0%	9.0%
卒業生	2.8%	6.6%	4.5%	4.4%	高校生	17.6%	10.3%	10.1%	3.0%
高校生	1.0%	4.5%	5.8%	2.8%	卒業生	14.8%	2.9%	5.6%	1.5%

※CS…コミュニティ・スクール

(14) 土曜日の授業の実施に伴う平日の授業の扱い(複数選択)

選択肢	小学校				中学校			
	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29
平日の授業はそのままにして土曜日の授業を実施	71.6%	85.0%	91.1%	89.8%	87.0%	83.3%	93.6%	92.8%
週時程の平準化を一部図って土曜日の授業を実施	28.4%	15.0%	12.7%	13.7%	13.0%	16.7%	14.7%	10.5%

(15) 土曜日の授業を一部の学年のみで実施

選択肢	小学校				中学校			
	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29
一部の学年のみで実施したことがある	1.5%	3.5%	7.0%	8.2%	3.5%	13.4%	14.1%	11.2%

(16) 土曜日の登下校の安全確保に対する対策(複数選択)

選択肢	小学校				中学校			
	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29
① 保護者や地域の見守隊等に依頼	56.7%	62.6%	71.1%	74.9%	7.0%	9.6%	13.5%	7.9%
② 教職員が登下校の指導	22.0%	25.9%	26.5%	30.4%	39.1%	40.8%	50.0%	43.4%
③ 青色パトロールカー等による巡回(教育委員会等による巡回も含む)	4.9%	4.5%	4.1%	4.7%	4.3%	1.3%	1.9%	0.7%

(17) 土曜日の授業に対する児童生徒の様子、保護者、教職員の考え（※職員会議や PTA 役員会等で、土曜日の授業等について話し合われた内容を参考にするなど、教職員や保護者の考えをもとに、学校長が回答）

①児童生徒の様子

設問項目	選択肢	小学校				中学校			
		H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29
(ア) 友達と一緒に過ごせるので、嬉しいと思う児童生徒が多い。	当てはまる	4.1%	8.8%	6.5%	5.6%	3.5%	3.2%	9.6%	4.6%
	どちらかと言えば当てはまる	38.4%	46.3%	52.4%	43.9%	19.1%	36.9%	32.7%	37.5%
	どちらかと言えば当てはまらない	42.9%	38.8%	37.3%	44.2%	41.7%	47.1%	48.7%	49.3%
	当てはまらない	12.7%	4.5%	3.8%	6.1%	30.4%	12.1%	9.0%	7.2%
	無回答	1.9%	1.6%	0.0%	0.3%	5.2%	0.7%	0.0%	1.3%
(イ) 特に平日の授業と変わった様子はない。	当てはまる	33.6%	14.4%	8.4%	8.5%	38.3%	19.7%	19.9%	15.8%
	どちらかと言えば当てはまる	50.0%	50.3%	52.7%	44.2%	42.6%	51.6%	49.4%	46.7%
	どちらかと言えば当てはまらない	11.9%	27.0%	32.2%	37.4%	12.2%	22.9%	26.9%	32.2%
	当てはまらない	4.1%	6.4%	6.8%	9.6%	5.2%	5.7%	3.8%	3.9%
	無回答	0.4%	1.9%	0.0%	0.3%	1.7%	0.0%	0.0%	1.3%
(ウ) 平日の授業と違った学習内容があつてよい。	当てはまる	—	8.8%	6.0%	4.1%	—	3.2%	7.7%	6.6%
	どちらかと言えば当てはまる	—	37.4%	45.4%	41.2%	—	43.9%	45.8%	40.8%
	どちらかと言えば当てはまらない	—	43.9%	40.3%	45.6%	—	38.2%	36.8%	38.8%
	当てはまらない	—	8.3%	8.4%	8.8%	—	14.0%	9.7%	12.5%
	無回答	—	1.6%	0.0%	0.3%	—	0.7%	0.0%	1.3%
(エ) 習い事や部活動などの時間と重なるので困る児童生徒が多い。	当てはまる	16.0%	12.0%	11.9%	14.6%	25.2%	21.7%	14.1%	25.0%
	どちらかと言えば当てはまる	45.9%	39.0%	41.1%	46.5%	46.1%	42.0%	48.1%	44.7%
	どちらかと言えば当てはまらない	32.8%	39.3%	40.3%	36.0%	22.6%	28.7%	30.1%	25.0%
	当てはまらない	3.4%	8.0%	6.8%	2.6%	4.3%	7.0%	7.7%	3.9%
	無回答	1.9%	1.7%	0.0%	0.3%	1.7%	0.6%	0.0%	1.3%
(オ) 疲れるので土曜日の授業はない方がよいと考える児童生徒が多い。	当てはまる	22.0%	24.1%	27.8%	33.9%	38.3%	35.7%	34.0%	37.5%
	どちらかと言えば当てはまる	49.3%	48.4%	51.9%	51.2%	42.6%	45.9%	50.0%	50.0%
	どちらかと言えば当てはまらない	23.9%	21.7%	18.7%	12.3%	15.7%	14.0%	14.7%	9.9%
	当てはまらない	3.0%	4.3%	1.6%	2.3%	1.7%	3.8%	1.3%	1.3%
	無回答	1.9%	1.5%	0.0%	0.3%	1.7%	0.6%	0.0%	1.3%

※「疲れるので土曜日の授業はない方がよいと考える児童生徒が多い」で、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」の回答が小学校、中学校ともに8割を越えている。一方で、「友達と一緒に過ごせるので、嬉しいと思う児童生徒が多い」「平日の授業と違った内容があつてよい」で、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」の回答が小学校、中学校ともに4～5割ある。

②保護者の考え

設問項目	選択肢	小学校				中学校			
		H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29
(ア) 土曜日の授業をもっと充実してほしいと考える保護者が多い。	当てはまる	—	3.5%	2.7%	0.6%	—	4.5%	3.2%	1.3%
	どちらかと言えば当てはまる	—	40.4%	41.0%	25.1%	—	45.2%	50.6%	23.7%
	どちらかと言えば当てはまらない	—	48.9%	51.4%	63.5%	—	38.2%	42.3%	64.5%
	当てはまらない	—	4.3%	4.9%	9.9%	—	10.2%	3.8%	8.6%
	無回答	—	2.9%	0.0%	0.9%	—	1.9%	0.0%	2.0%
(イ) 今後も継続して進めてほしいと考える保護者が多い。	当てはまる	18.7%	6.1%	5.4%	1.5%	24.3%	5.7%	6.4%	2.0%
	どちらかと言えば当てはまる	44.4%	49.5%	53.0%	31.9%	40.0%	51.0%	55.1%	28.3%
	どちらかと言えば当てはまらない	29.5%	38.2%	37.5%	58.5%	24.3%	35.0%	35.3%	59.9%
	当てはまらない	1.5%	3.5%	4.1%	7.3%	7.0%	6.4%	3.2%	7.9%
	無回答	6.0%	2.7%	0.0%	0.9%	4.3%	1.9%	0.0%	2.0%
(ウ) 学習機会が保障されることで、有意義に過ごせると考える保護者が多い。	当てはまる	4.5%	4.0%	3.8%	1.8%	2.6%	3.2%	3.8%	2.0%
	どちらかと言えば当てはまる	61.9%	57.2%	53.0%	38.6%	62.6%	53.5%	56.4%	44.1%
	どちらかと言えば当てはまらない	26.9%	34.2%	38.6%	51.8%	27.0%	36.3%	35.3%	48.7%
	当てはまらない	1.9%	1.9%	4.6%	7.0%	3.5%	5.1%	4.5%	3.3%
	無回答	4.9%	2.7%	0.0%	0.9%	4.3%	1.9%	0.0%	2.0%
(エ) 保護者の参加や地域の協力が得やすくしてよい。	当てはまる	—	—	7.9%	5.6%	—	—	7.7%	5.3%
	どちらかと言えば当てはまる	—	—	58.3%	54.1%	—	—	46.5%	42.1%
	どちらかと言えば当てはまらない	—	—	28.3%	33.3%	—	—	37.4%	43.4%
	当てはまらない	—	—	5.5%	6.1%	—	—	8.4%	7.2%
	無回答	—	—	0.0%	0.9%	—	—	0.0%	2.0%
(オ) 実施するに当たり、説明が不十分であったと感じている保護者が多い。	当てはまる	4.1%	1.3%	1.9%	1.2%	6.1%	0.6%	1.3%	0.7%
	どちらかと言えば当てはまる	26.5%	16.6%	12.0%	12.3%	22.6%	19.1%	15.5%	12.5%
	どちらかと言えば当てはまらない	36.6%	52.1%	60.9%	64.3%	33.0%	49.7%	53.6%	59.9%
	当てはまらない	27.2%	27.0%	25.3%	21.3%	33.9%	28.7%	29.7%	25.0%
	無回答	5.6%	3.0%	0.0%	0.9%	4.3%	1.9%	0.0%	2.0%
(カ) 土曜日の授業をする必要はないと思っている保護者が多い。	当てはまる	1.5%	2.7%	3.5%	5.0%	7.0%	5.1%	3.8%	7.2%
	どちらかと言えば当てはまる	22.8%	25.1%	28.9%	46.5%	17.4%	29.3%	28.9%	50.7%
	どちらかと言えば当てはまらない	48.5%	57.5%	57.8%	43.0%	48.7%	50.3%	59.6%	36.2%
	当てはまらない	21.3%	11.8%	9.8%	4.7%	22.6%	13.4%	7.7%	3.9%
	無回答	6.0%	2.9%	0.0%	0.9%	4.3%	1.9%	0.0%	2.0%

※「当てはまる」及び「どちらかと言えば当てはまる」の回答が最も高いのは「土曜日の授業をする必要はないと思っている保護者が多い」で、小学校、中学校ともに5割を越えており、年々増加している。一方で、「学習機会が保障されることで、有意義に過ごせると考える保護者が多い」「保護者の参加や地域の協力が得やすくしてよい」で、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」の回答が5割前後ある。

※「今後も継続して進めてほしいと考える保護者が多い」で、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」の回答が、昨年度と比べ20ポイント以上減少している。

③教職員の考え

設問項目	選択肢	小学校				中学校			
		H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29
(ア) 土曜日の授業をもっと充実する方がよい。	当てはまる	—	1.1%	0.5%	0.0%	—	1.3%	1.3%	0.7%
	どちらかと言えば当てはまる	—	16.3%	11.6%	5.0%	—	14.6%	9.6%	8.6%
	どちらかと言えば当てはまらない	—	53.2%	48.7%	42.4%	—	52.9%	52.6%	40.1%
	当てはまらない	—	28.3%	39.2%	52.6%	—	30.6%	36.5%	50.0%
	無回答	—	1.1%	0.0%	0.0%	—	0.6%	0.0%	0.7%
(イ) 今後も継続して実施する方がよい。	当てはまる	0.0%	1.6%	0.3%	0.3%	0.0%	1.3%	1.3%	0.7%
	どちらかと言えば当てはまる	11.6%	11.8%	11.1%	5.3%	11.3%	13.4%	7.7%	3.3%
	どちらかと言えば当てはまらない	56.0%	53.5%	45.1%	36.5%	56.5%	46.5%	55.5%	38.8%
	当てはまらない	27.2%	32.4%	43.5%	57.9%	30.4%	38.2%	35.5%	56.6%
	無回答	5.2%	0.7%	0.0%	0.0%	1.7%	0.6%	0.0%	0.7%
(ウ) 家庭での学習が何らかの理由で困難な児童生徒への学習機会の保障として有効である。	当てはまる	2.2%	3.2%	2.4%	0.3%	1.7%	3.8%	2.6%	2.0%
	どちらかと言えば当てはまる	41.0%	34.2%	31.4%	24.9%	47.0%	36.3%	33.3%	27.0%
	どちらかと言えば当てはまらない	38.8%	45.7%	46.0%	44.7%	32.2%	42.0%	46.2%	46.1%
	当てはまらない	16.4%	15.8%	20.3%	30.1%	17.4%	17.2%	18.0%	24.3%
	無回答	1.5%	1.1%	0.0%	0.0%	1.7%	0.7%	0.0%	0.7%
(エ) 地域とともにある学校づくりにつながる。	当てはまる	—	13.4%	9.5%	6.7%	—	12.7%	5.8%	7.9%
	どちらかと言えば当てはまる	—	60.2%	52.7%	49.1%	—	58.0%	58.3%	57.2%
	どちらかと言えば当てはまらない	—	19.3%	27.8%	32.5%	—	19.1%	30.8%	27.0%
	当てはまらない	—	6.4%	10.0%	11.7%	—	9.6%	5.1%	7.2%
	無回答	—	0.8%	0.0%	0.0%	—	0.6%	0.0%	0.7%
(オ) 土曜日を活用すれば、平日の負担を減らすことができる。	当てはまる	1.5%	1.3%	0.8%	0.3%	0.9%	0.0%	0.6%	0.0%
	どちらかと言えば当てはまる	15.7%	12.6%	11.4%	5.8%	13.9%	12.1%	11.5%	7.9%
	どちらかと言えば当てはまらない	32.1%	37.4%	33.0%	33.3%	25.2%	32.5%	36.5%	31.6%
	当てはまらない	49.6%	47.6%	54.9%	60.5%	58.3%	54.8%	51.3%	59.9%
	無回答	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	1.7%	0.6%	0.0%	0.7%
(カ) 必要性を感じない。	当てはまる	33.6%	30.5%	40.5%	50.0%	26.1%	34.3%	36.5%	48.7%
	どちらかと言えば当てはまる	48.5%	46.0%	38.1%	38.3%	56.5%	41.4%	45.5%	38.8%
	どちらかと言えば当てはまらない	13.8%	18.5%	18.4%	10.2%	13.0%	20.4%	15.4%	11.2%
	当てはまらない	2.2%	4.3%	3.0%	1.2%	2.6%	3.2%	2.6%	0.7%
	無回答	1.9%	0.7%	0.0%	0.3%	1.7%	0.7%	0.0%	0.7%

※「土曜日の授業をもっと充実する方がよい」で、「当てはまらない」「どちらかと言えば当てはまらない」の回答及び「必要性を感じない」で、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」の回答がともに約9割ある。一方で、「家庭での学習が何らかの理由で困難な児童生徒への学習機会の保障として有効である」で、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」の回答が3割弱、「地域とともにある学校づくりにつながる」で、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」の回答が約6割ある。

(18) 土曜日を活用したその他の教育活動の実施状況

選択肢	小学校		中学校		合計	
	実施校	実施校の平均日数	実施校	実施校の平均日数	実施校	実施校の平均日数
土曜の課外授業	10.3%	1.4日	29.0%	2.9日	16.0%	2.2日
土曜学習	33.5%	19.5日	19.4%	6.3日	29.2%	16.9日
土曜、日曜に行う終日の授業（終日の振替あり）	82.7%	2.6日	55.5%	2.2日	74.5%	2.5日

《土曜の課外授業》

学校が主体となった教育活動で、土曜日等を活用して希望者を対象に学習等の機会の提供を行うなど、教育課程外の学校教育活動を行うもの ※部活動は除く

《土曜学習》

教育委員会、社会教育施設、地域住民など学校以外の者が主体となって、土曜日等を活用して希望者を対象に学習等の提供を行うもの（基礎学力向上や補充学習のための学習の機会の提供、職場体験等のキャリア教育の機会の提供、スポーツ少年団の活動など）

児童生徒アンケート結果の概要

※H27、H28 は土曜授業推進事業実践校を対象に実施

※H29 は土曜日の授業の実施回数を鑑み、県内6市町を対象に実施

(19) 土曜日の授業についてどう思うか。(複数選択)

	小学校			中学校		
	H27	H28	H29	H27	H28	H29
(ア) 土曜日でも友達と過ごせるのでうれしい。	52.4%	56.8%	59.4%	27.0%	23.6%	29.2%
(イ) 平日の授業とは違った学習内容(体験活動等)があつてよい。	28.7%	36.4%	36.0%	20.8%	15.8%	19.5%
(ウ) 平日の学校と変わった感じはない。	31.5%	23.7%	33.3%	28.5%	27.0%	38.4%
(エ) 午前中に、塾や習い事に行けなかったり、部活動やスポーツ少年団などの活動ができなかったりして困る。	11.5%	10.7%	19.2%	20.3%	23.0%	16.1%
(オ) 疲れるので、土曜日の授業がない方がよい。	40.6%	35.2%	45.7%	65.2%	61.1%	56.0%

(20) これからの土曜日の授業では、どんなことがしたいか。(複数選択)

	小学校			中学校		
	H27	H28	H29	H27	H28	H29
(ア) 普段の授業でわかりにくいところを教えてほしい。	24.7%	22.5%	22.3%	34.1%	29.1%	22.5%
(イ) 普段の授業よりも発展的な学習がしたい。	28.2%	39.6%	23.8%	16.7%	17.1%	15.2%
(ウ) 何かを作ったり、体験したりするような学習がしたい。	77.7%	64.0%	77.1%	58.0%	52.5%	65.2%
(エ) 集会や学校行事があればよい。	31.5%	23.8%	30.8%	34.1%	33.1%	37.3%

《参考》(19) (イ) と (20) のクロス集計

		普段の授業でわかりにくいところを教えてほしい。	普段の授業よりも発展的な学習がしたい。	何かを作ったり、体験したりするような学習がしたい。	集会や学校行事があればよい。
(イ) 平日の授業とは違った学習内容(体験活動等)があつてよい。	小学2～3年生	27.0%	46.0%	78.6%	26.2%
	小学4～6年生	18.1%	21.6%	87.9%	37.1%
	中学生	28.6%	26.4%	74.7%	39.6%

※「平日の授業とは違った学習内容(体験活動等)があつてよい」と回答した児童生徒で、小学校の低学年では「普段の授業でわかりにくいところを教えてほしい」よりも「普段の授業よりも発展的な学習がしたい」の方が約20%多いが、中学生では「普段の授業でわかりにくいところを教えてほしい」の方が上回っている。

保護者アンケート結果の概要（※実施対象は児童生徒アンケートと同様）

(21) 土曜日の授業についての考え（複数選択）

	小学校	中学校
(ア) 体験など、子どもの成長にとって良い取組だ。	48.7%	37.9%
(イ) 学習の機会が増えてよい。	62.4%	66.2%
(ウ) 保護者の参加や地域の協力が得やすくよい。	22.8%	12.6%
(エ) 家族と過ごす時間が少なくなっている。	9.5%	7.6%
(オ) 習い事やスポーツ活動などと重なって困る。	15.0%	15.2%
(カ) 子どもが疲れて大変だ。	9.5%	12.9%
無回答	5.5%	5.8%

(22) 土曜日の授業への希望（複数選択）

	小学校	中学校
(ア) 校外学習や体験活動。	53.6%	40.4%
(イ) 地域のことを学ぶ学習。	31.8%	17.2%
(ウ) 地域の方や、企業の方、大学の先生などを招いた学習。	26.3%	27.0%
(エ) 保護者や地域の方への公開。	23.0%	11.6%
(オ) 補充的な学習や発展的な学習。	51.6%	55.8%
(カ) 平日と同じ教科学習。	38.0%	43.9%
無回答	3.3%	5.1%

(23) 今後の土曜日について（複数選択）

	小学校	中学校
(ア) 内容をもっと充実してほしい。	26.3%	29.3%
(イ) 今後も継続してほしい。	55.1%	51.8%
(ウ) もっと少なくしてほしい。	17.0%	18.2%
無回答	7.5%	6.3%

《参考》(21) と (23) のクロス集計

(小学校)

	体験など、子どもの成長にとって良い取組だ。	学習の機会が増えてよい。	保護者の参加や地域の協力が得やすくよい。	家族と過ごす時間が少なくなつて困る。	習い事やスポーツ活動などと重なって困る。	子どもが疲れて大変だ。
内容をもっと充実してほしい。	48.6%	70.1%	20.8%	4.9%	6.3%	6.3%
今後も継続してほしい。	63.2%	78.1%	26.2%	2.3%	7.3%	3.3%
もっと少なくしてほしい。	15.1%	7.5%	18.3%	34.4%	46.2%	33.3%

(中学校)

	体験など、子どもの成長にとって良い取組だ。	学習の機会が増えてよい。	保護者の参加や地域の協力が得やすくよい。	家族と過ごす時間が少なくなつて困る。	習い事やスポーツ活動などと重なって困る。	子どもが疲れて大変だ。
内容をもっと充実してほしい。	44.0%	69.0%	19.8%	5.2%	19.0%	8.6%
今後も継続してほしい。	48.3%	88.8%	15.6%	0.5%	5.9%	3.9%
もっと少なくしてほしい。	11.1%	15.3%	4.2%	29.2%	37.5%	43.1%

※「内容をもっと充実してほしい」「今後も継続してほしい」と回答した保護者は、土曜日の授業について「学習の機会が増えてよい」「体験など、子どもの成長にとって良い取組だ」と回答する割合が多い。

※「もっと少なくしてほしい」と回答した保護者は、土曜日の授業について「家族と過ごす時間が少なくなつて困る」「習い事やスポーツ活動などと重なって困る」と回答する割合が多い。

(22) と (23) のクロス集計

(小学校)

	校外学習や体験活動。	地域のことを学ぶ学習。	地域の方や、企業の方、大学の先生などを招いた学習。	保護者や地域の方への公開。	補足的な学習や発展的な学習。	平日と同じ教科学習。
内容をもっと充実してほしい。	56.3%	36.8%	31.9%	19.4%	59.7%	39.6%
今後も継続してほしい。	59.6%	39.1%	28.1%	23.8%	57.0%	44.4%
もっと少なくしてほしい。	40.9%	17.2%	16.1%	28.0%	29.0%	29.0%

(中学校)

	校外学習や体験活動。	地域のことを学ぶ学習。	地域の方や、企業の方、大学の先生などを招いた学習。	保護者や地域の方への公開。	補充的な学習や発展的な学習。	平日と同じ教科学習。
内容をもっと充実してほしい。	50.9%	27.6%	31.9%	13.8%	60.3%	48.3%
今後も継続してほしい。	40.5%	23.9%	29.3%	14.1%	67.3%	48.3%
もっと少なくしてほしい。	36.1%	8.3%	18.1%	6.9%	31.9%	34.7%

※小学校で「内容をもっと充実してほしい」「今後も継続してほしい」と回答した保護者の約6割は、「校外学習や体験活動」「補充的な学習や発展的な学習」を希望している。また、「もっと少なくしてほしい」と回答した保護者で最も多かったのは「校外学習や体験活動」で、約4割である。

※中学校で「内容をもっと充実してほしい」「今後も継続してほしい」と回答した保護者の6割以上が「補充的な学習や発展的な学習」を希望している。「もっと少なくしてほしい」と回答した保護者で最も多かったのは「校外学習や体験活動」で、4割近い回答があった。

アンケートの自由記述における回答（市町教育委員会、学校からの回答）

<成果>

（家庭・地域との連携）

- ・土曜日は保護者も学校に出やすく、PTA 行事と学校公開デー（授業参観）を実施し、多くの来校者があった。
- ・郷土に親しみをもつ取組で、地域の方々とのふれあいを深める機会となった。
- ・土曜日開催の町行事（防災訓練）に参加できた。
- ・町一斉の避難訓練に積極的に参加し、災害に備えようとする意識を高めることができた。
- ・児童生徒が外部人材の協力を得て専門的な知識や経験に触れたり、地域の行事や活動に参加したりすることで、日頃の学びと実体験が結びつき、より深い学びに繋がった。
- ・地域の方に学校や行事に参加していただき、児童生徒の姿を見ていただく機会がもて、学校教育の理解へとつながった。
- ・携帯・スマホ教室や命を大切にする講演会等、子どもと保護者同時に啓発活動が行えた。
- ・保護者や地域住民と連携した取組を行うことにより、地域とともにある学校づくりを推進することができた。
- ・地元の南伊勢高校の SBP（地域資源と交流し、活用してまちづくりやビジネスを提案する取組）を中心に小中学校と連携し交流を深めていくことができた。

《事例①》年間計画に位置づけたキャリア教育

キャリア教育の一環として、高校生と中学3年生の意見交流を実施している。年間計画の中に位置づけられ、土曜日に実施することで高校生が参加しやすく、複数の高校から卒業生以外の生徒もメンバーに加わっている。中学生8～10人程度のグループに高校生が1, 2名入り、高校生活（部活動や勉強等）について意見交流をする。中学生にとって高校生活がイメージしやすく、進路を考える上で有効であり、高校生にとっても自己肯定感が高まるなど、お互いにメリットがある。

《事例②》地域住民との合同避難訓練の実施

授業中に非常時となった場合、地域住民とともに避難することを想定して、地域住民との合同避難訓練を実施している。自主防災の方々と連携した取組で、当日までに生徒会のメンバーが数回にわたり打ち合わせを行うなど、生徒主体の取組として計画的に取り組んでいる。

(学習面)

- ・外国語活動で使う授業時間の確保ができ、学力向上の取組につなげることができた。
- ・テスト前の補充学習に自主的に参加しており、一定の成果があった。
- ・平日には行うことが難しい企業等の出前授業やゲストティーチャー招聘の授業等の実施ができた。
- ・授業時間の余裕による、繰り返し学習等きめ細かな授業の充実ができた。
- ・校外学習や体験活動など、子どもたちが多様な学習活動を行う機会となった。

《事例③》地域ボランティアによる学習支援等

土曜日の授業において学習支援ボランティアに来校していただき、個に応じた支援やプリントの丸つけ等学習支援を行った。3年目の取組で、改善を重ねながら進めている。また、スポーツテストの計測や記録等にもボランティアの方に協力いただき、時間短縮ができたとともに、児童の運動能力の実態について知ってもらう良い機会となった。

(教育課程の工夫)

- ・平日の日課に関して授業時数の平準化を図ることができた。
- ・教科の授業時間数を確保できた。
- ・講師招聘に伴い、年間を通して計画的な実施ができた。

《事例④》授業の平準化

学期始、学期末の授業を軽減する（平準化）することで、校務の準備やまとめに要する時間を確保し、教職員の多忙化の解消を行った。

＜主な課題と取組＞

土曜日の授業を実施する上で、各市町が主に課題として捉えている項目は以下の3点で、課題解決に向け、次のような回答が得られた。

①週休日の勤務を同一週へ振り替えることが難しい。

(課題に対する取組)

- ・ 定期試験と土曜日の授業を連続させることで、同一週に半日の振替が取りやすくなる。
- ・ 学年ごとに実施することで、教員の負担も緩和される。
- ・ 小学校では、授業支援体制やカリキュラムの工夫により、同一週の振替を行うことができるようになってきた。
- ・ 土曜日の授業を行った同一週に振替を行いやすいよう会議を入れないようにし、定時退校日を設定した。
- ・ 校長が土曜日の授業の振替取得に係る年間計画を作成し、振替の計画的な取得を促した。
- ・ 土曜日の授業を実施する同一週の水曜日の授業を午前のみとすることで、管理職以外の教職員が午後から振替をとれるようにし、ノー残業デーも確保できた。生徒も部活動の休養日とすることができた。

②土曜日の授業は、基本的に第3週に実施することが定着してきており、地域行事や社会教育団体及びスポーツ関係団体の取組との日程の重複は改善されてきているが、一部、重なりが見られる。

(課題に対する取組)

- ・ 家庭、地域、外部団体等の理解・協力なくしては円滑な実施は難しいので、取組の様子等を広報やホームページ等で広く発信して理解を得る必要がある。
- ・ 年間の実施回数を削減。

③土曜日の授業を実施することで、児童生徒が週末に休養が十分に取れず、翌週の月曜日は元気がなく、意欲が低下している。

(課題に対する取組)

- ・ 内容の精査を行い、負担感のない効果的な土曜日の授業にしていく。
- ・ 年間の実施回数を削減。